

# みんなのしあわせ

No. 149

平成23年 (2011)  
9月15日号

年6回(1・3・5・7・9・11月)発行

主な内容

- 平成23年度歳末たすけあい援護金の配分申請 2P
- 報告 3P
- お知らせ(入札公告、苦情解決窓口設置等) 4~5P
- ボランティアセンターだより 6P

**編集発行** 水戸市社会福祉協議会広報委員会  
社会福祉法人水戸市社会福祉協議会  
〒311-4141 水戸市赤塚1-1  
(水戸市福祉ボランティア会館内)  
TEL 309-5001 FAX 309-5525  
URL <http://www.mito-syakyo.or.jp>  
E-mail [syakyo@mito-syakyo.or.jp](mailto:syakyo@mito-syakyo.or.jp)



「東日本大震災」での支援活動を踏まえ、災害支援ボランティアの在り方を考える「東日本大震災」災害支援ボランティア活動報告会を6月25日(土)、福祉ボランティア会館で開催。25名のボランティア活動者が参加し、グループワークを通して活発な意見交換が行われました。グループ発表では「ボランティアを

## 災害支援の在り方を考える

「東日本大震災」での支援活動を踏まえ、災害支援ボランティアの在り方を考える「東日本大震災」災害支援ボランティア活動報告会を6月25日(土)、福祉ボランティア会館で開催。25名のボランティア活動者が参加し、グループワークを通して活発な意見交換が行われました。グループ発表では「ボランティアを的確にコーディネートするリーダーの養成が必要」「被災者の心の支援も大切」などの意見が出されたほか、茨城県内の災害状況を報告した茨城県社会福祉協議会の篠原義典部長からは「災害の時は誰もが被災者。日頃からの地域のたすけあい活動が重要」とアドバイスがありました。



災害支援ボランティアとは(グループワークと発表の様子)



☎ 309・5001

(協議会内)

問合せ/茨城県共同募金会  
水戸市支会(社会福祉協議会内)

共同募金  
歳末たすけあい募金  
にご協力を!

今年度も10月1日から赤い羽根共同募金運動が全国一斉に始まります。募集方法は別途、町内回覧でご案内します。今年も皆さまのご協力をお願いします。

# 平成23年度 歳末たすけあい援護金の配分申請案内

歳末たすけあい援護金を在宅者並びに地域のふれあい支え合い事業に配分します。希望される場合は下記により申請してください。(自己申請による配分です)

- 1 申請受付期間／平成23年10月3日(月)～10月31日(月)まで(期日厳守)
- 2 申請書の提出及び問合せ／水戸市社会福祉協議会地域福祉係  
(〒311-4141 水戸市赤塚1-1 ミオス 2F 福祉ボランティア会館内 ☎309-5001) へ  
必要書類を添えて直接持参するか(土、日、祝日除く)、又は郵送(期限必着)してください。
- 3 配分の時期・方法／平成23年12月中に、原則口座振込みにて配分します。

## 在宅者への配分

生活困難のために支援を要する世帯に援護金を贈呈します。(※生活保護世帯を除く)  
〈配分対象世帯〉 在宅で、次の(1)と(2)の両方の条件に該当している世帯。

- (1) 10月1日現在で水戸市内に6ヶ月以上居住し、世帯全員の市民税が非課税であり、世帯の収入月額が下表の収入基準額表に定める基準額以下であること。

収入基準額表(7人以上の場合は1人増えるごとに、60,000円を加算する)

世帯人数	1人	2人	3人	4人	5人	6人
基準額	127,000円	194,000円	264,000円	334,000円	409,000円	467,000円

- (2) 次にあげる世帯条件のいずれかに該当する世帯(ただし、2つ以上の該当がある場合でも申請はいずれか一つです。)

- ① 満65歳以上のひとり暮らし高齢者世帯
- ② 満65歳以上のねたきり又は認知症高齢者のいる世帯
- ③ 準要保護の認定を受けている世帯
- ④ 重度障害者のいる世帯

ア. 身体障害者手帳1級(聴覚障害者は2級) イ. 療育手帳Ⓐ又はA  
ウ. 精神障害者保健福祉手帳1級

- ⑤ 未就学児(小学校入学前)のみを養育する母子父子世帯

※対象となる方が施設入所や長期入院(6ヶ月以上)などの理由で在宅でない場合は対象外です。

〈申請に必要なもの〉	〈配分申請書の配布場所〉
<ul style="list-style-type: none"><li>○配分申請書</li><li>○世帯全員分の市民税非課税証明書(平成23年度)</li><li>○「重度障害者のいる世帯」は障害者手帳のコピー(氏名・等級がわかる部分)</li><li>○「準要保護世帯」は準要保護児童生徒認定通知書のコピー</li><li>○振込先通帳のコピー(表紙の内側)</li></ul> ※配分条件と提出書類をご確認の上、申請してください。	<ul style="list-style-type: none"><li>①水戸市社会福祉協議会(赤塚1-1ミオス2F)</li><li>②八幡荘(八幡町8-48)</li><li>③あかね荘(石川2丁目4094-1)</li><li>④柳堤荘(本町1丁目3-28)</li><li>⑤常澄老人福祉センター(大場町472-1)</li><li>⑥南部老人福祉センター「ふれしあ」(吉沢町850)</li></ul>

※配分申請書は水戸市社会福祉協議会のホームページ(<http://www.mito-syakyo.or.jp>)からもダウンロードできますのでご利用ください。

## 地域のふれあい支え合い事業への配分

福祉団体や福祉ボランティア団体などが、水戸市民を対象として平成23年11月1日～翌年1月31日までの間に実施する「ふれあい・支え合い」を目的とした交流事業に対して配分を行います(5万円以内)。配分を希望する場合は、本会までお問合せのうえ申請してください。

# 報告

## 老人福祉センター

### 「柳堤荘」

#### 歯つらつ講座

7/11開催

口腔ケアを通して身体の健康維持、老化防止を図り、ハツラツとした人生を満喫しようと、水戸市保健センターの保健師、歯科衛生士の方を講師に招いて、介護予防事業「歯つらつ講座」が老人福祉

センター「柳堤荘」で開かれ、地域の高齢者33名が参加しました。口の働きを健康に保つことは、

嚥下障害や誤嚥性肺炎を防げるだけでなく、生活の質を高める効果もあることから、日常の歯みがきで気をつけることなどのアドバイスに参加者は耳を傾けていました。また、「お口のトレーニングで若返り！」と題して、頬周りのマッサージや発

声トレーニングなどの実演も行われました。



参加者をモデルに口腔粘膜清掃用ブラシの実演

## 老人福祉センター

### 「あかね荘」

#### AED救命処置講習会

7/29開催

万が一のときに備えて、しっかりとした知識で救命手当てができるよ



AED(自動体外式除細動器)

うにと、AEDを用いた救命処置講習会が老人福祉センター「あかね荘」で開かれ、小学生を含む25名の地域の方々が参加しました。講習は水戸地区救命普及協会の応急手当指導員を招いて行われ、参加者は実際にAEDに触れて、使用方法や心肺蘇生法、緊急時の心得などを学びました。参加者の一人、石川地区婦人防火クラブ会長の坂場代志江さんは「緊急時でも、

すぐに対処すれば命が助かる場合もある。AEDがもつ身近な物として普及してくれば」と感想を話しました。



AEDの操作方法について説明を受ける参加者

## 南部老人福祉センター

### 「ふれしあ」

#### 夏休み陶芸体験教室

7/23開催

市内在住の小学生を対象に、自分だけのオリジナル陶器を作って、楽しい陶芸体験をしてみようという、南部老人福祉センター「ふれしあ」で夏休み陶芸体験教室が開かれ、21名が参加しました。当日は、「ふれしあ」陶芸教室の方々がサポートにまわり、子どもたちと一緒に作品制作に取り組みました。作品完成（窯出し）は約1か月後になり、参加した子どもたちからは「どんな色になる

か楽しみ」「作ったお皿でご飯を食べてみたい」と出来上がりを心待ちにする声が聞かれました。



ふれしあ陶芸教室のサポーターが応援



制作工程の説明に聞き入る子どもたち

## 朗読ボランティア「こだま」会員募集

朗読(音訳)が好きな方、ボランティアに興味のある方、私たちと一緒に活動してみませんか。初めての方でも大歓迎!見学も随時可能です。

活動目的	視覚障害者に声の広報紙を届ける
主な活動場所	福祉ボランティア会館 録音室
加入者数	約16名
活動日	月2回の勉強会と広報担当日
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広報みと(月2回)の音訳テープ及びCD作成</li> <li>・水戸市議会報(年4回)、社協広報紙みんなのしあわせ(年6回)の音訳テープを作成</li> <li>・水視協のお知らせテープを作成(随時)して会員に郵送</li> <li>・対面朗読等 <small>「みんなのしあわせ」収録の様子▶</small></li> <li>・勉強会(月2回、第1、3の水曜日または木曜日)</li> <li>・その他、共同募金やボランティアまつり等に参加</li> </ul>
連絡先	朗読ボランティア「こだま」代表 小形勝恵 水戸市社会福祉協議会ボランティアセンター ☎ 309-1011

## 苦情解決の窓口を設置しています

水戸市社会福祉協議会の福祉サービス事業についてのご要望や苦情はありませんか。

水戸市社会福祉協議会では、社会福祉法第82条の規定に基づき、本会が実施する事業について、市民及び利用者等からの苦情に適切に対応するため、苦情受付担当者及び苦情解決責任者、また、公正・中立な立場から苦情解決に関わる第三者委員を設置しています。

苦情等がございましたら、ご利用の係・施設又は事務局までお申し出ください。職員が誠意をもって対応し解決に努めます。

問合せ・連絡先 水戸市社会福祉協議会  
☎ 309-5001 FAX 309-5525  
eメール syakyo@mito-syakyo.or.jp

### ～個人情報取扱について～

苦情解決に関わる個人情報については苦情対応以外には利用いたしません。

## 老人福祉センター 八幡荘解体工事 一般競争入札を行います

入札区分 一般競争入札  
 工事件名 老人福祉センター八幡荘解体工事  
 工事場所 水戸市八幡町地内  
 工事概要 八幡荘(RC造2階建て)解体 732㎡  
 機械室(CB造平屋建て)解体 30㎡  
 設計図書閲覧及び入札参加申請期間  
 平成23年9月15日(木)から  
 平成23年9月30日(金)まで  
 9時から17時まで(土・日・祝日は除く)  
 水戸市社会福祉協議会事務局内  
 入札日 平成23年10月6日(木)9時  
 入札場所 水戸市福祉ボランティア会館大研修室  
 (水戸市赤塚1-1 ミオス2階)

入札参加資格・条件等詳細については、水戸市社会福祉協議会事務局掲示板(水戸市赤塚1-1 ミオス2階)又は当協議会ホームページ(<http://www.mito-syakyo.or.jp>)をご覧ください。

### ■問合せ先

水戸市赤塚1-1 ミオス2階  
 水戸市社会福祉協議会総務管理係  
 ☎ 309-5001



老人福祉センター「八幡荘」外観

## ご芳志ありがとうございました

水戸市社会福祉協議会 平成23年6月～23年7月受付分  
(敬称略・順不同) 随時受付しております。

### 寄付金 (社会福祉事業に)

安嶋ゆり子、関澤貞子、矢島一郎、内原すみれ会、高丸  
稲荷神社 (平成23年度7月末累計額 464,734円)

### 使用済切手・テレホンカード・物品等

ふるさと赤塚をつくる会福祉厚生部、NPO スリー  
アール茨城、川村和雄、全司法茨城支部、進藤美代子、  
石田早苗、柳沼久美子、ボーイスカウト水戸第2団、  
尾関禮子、楢崎ひろ子、小島栄也、NPO 法人蛍の  
会、外岡健夫、野菊の会、照井幸子、内原民生委員  
児童委員協議会、後藤謙一、河野公房、社協緑岡支  
部、石川市民センター、(株)水野安吉商店、園部美喜子、  
郡司陽子、(有)大山建設工業、石川女性会、墨谷玲子、  
坂本早苗、朗読ボランティアコスモス、浜田女性会、  
(有)保険プロ茨城、上中妻小学校厚生委員、秋山道子、  
カネミツ商会、関澤貞子、小島喜久子、関東ビルサー  
ビス(株)、大和ハウス工業(株)茨城支店、中崎香代子、  
東水運輸(株)、増淵千加子、小川元子、四倉芙美、森  
島徳江、全国納豆厚生年金基金、(有)アーク・オフィ  
ス、遠藤五代子・斉・愛香、西村初枝、大久保たか、  
アイリスフォークダンスクラブ、(有)ヤスデンキ、柏  
洋子、宮本禮子、河和田小学校、茨城県社会保険労  
務士会、ふれあいクラブ、琴友会、四つばの会、金  
子篤三、城東女性会、古川文子、佐藤修、小園井光代、  
袴塚昭四郎、平山文男、益子誠、七海康光、和田カ  
ヨ子、深谷幸子



第11回水戸市チャリティ・カラオケ



福祉を支える会様より寄付金



ASA上水戸栗原新聞店、ASA勝田北部大和田新聞店、ASA常陸大  
宮中村新聞店、ボランティアサークル合歓の会様のペットボトル  
キャップ、プルタブ収集活動等により車イス1台(今回で3台目)

## お知らせ

### 心配ごと相談

財産・家族・離婚問題  
など、あらゆる心配ごと  
や悩みごとの相談に応じ  
ています。(電話相談は  
できません。予約不要。  
当日、受付順に相談)  
日時／毎週火・木曜日(祝  
日を除く) 13時～15時  
30分まで受付  
場所／福祉ボランティア  
会館(赤塚一―一)  
問合せ／社会福祉協議会  
☎309・5001

## ボランティア相談

ボランティアに関する  
情報やボランティア活  
動をしてみたい方・受け  
たい方に専任のコーディネ  
ーターがお応えいたし  
ます。  
日時／毎週火～土曜日  
(祝日・年末年始を除く)  
9時30分～12時、13時  
～16時30分  
場所／福祉ボランティア  
会館(赤塚一―一)  
問合せ／ボランティアセンタ  
☎309・1011

## 社協役員・評議員改選

任期満了に伴い水戸市社会  
福祉協議会の役員・評議員が  
改選されました。(敬称略・  
順不同)

役員紹介 (任期平成23年7月  
28日～平成25年7月27日)

会長 岩上堯  
副会長 久野三七十、渡邊  
和雄、小川喜治、夏堀さ  
く江

理事 篠原秀、市原毅、  
小澤一郎、名雪マサ子、金  
澤いね子、山口慶治、五十  
嵐博、清水孝子、和知忠伸、  
友部英、檜山實

常務理事 後藤務  
監事 山内基弘、江幡八  
郎衛門

評議員紹介 (任期平成23年7  
月17日～平成25年7月16日)

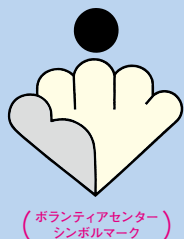
評議員 根本勝、鈴木盛雄、  
増子秀逸、小环稔、宮田静

## 編集後記

過日あるテレビを見ていたところ、1本の糸(弦)を作るところ  
があった。それは三味線の糸(弦)で、1本の弦を作るための作業  
に、複数の人々が沢山の過程を経て作りあげていくのだった。“一  
筋の糸”というものが、このような経過で音色に結びつくことの  
大事さ、大切なものがあることを改めて目にし、世の中のすべて  
に形は違っていても大事なことは共通していることを感じられた。  
私達の人生に通ずる大切なことを。

(広報委員長 小澤 一郎 記)

助川義明、宮本茂、青木  
實、篠原正男、仲川武夫、  
小山田六郎、莊司道之介、  
笹沼進三、中山志郎、小  
坪玲子、久信田もと子、  
才丸洋子、安藤香代、大  
野光一、富田たま子、山  
川庫、石堀和雄、高橋康暉、  
小林三郎、山口保雄、長  
須賀良明、根本一夫、小  
森正巳、豊崎和馬、萩野  
谷稔、藤田絹代、平沼賢  
治、小林恒子、谷萩美智  
子、橋本浩志、菊池克幸、  
安齋昭子、磯寄禮子、高  
橋光義、藤原忠弘、福田  
紀二男、海老根明義、田  
口定男



# ボランティアセンター だより

問 合 せ・申込み等

## 「ボランティア国際年+10」

「ボランティア国際年」(2001年)から10年目にあたる2011年を国連は「ボランティア国際年+10(プラステン)」と位置づけ、再びボランティア推進を世界中に呼びかけています。

水戸市社会福祉協議会ボランティアセンター  
〒311-4141 水戸市赤塚1-1(水戸市福祉ボランティア会館内)  
☎ 029-309-1011・FAX 029-309-1139  
(<http://www.mito-syakyo.or.jp>)

## 7月・8月の ボランティア体験月間に

夏休み小学生ボランティア講座(夏休み防災塾)を開催しました。我が家の防災リーダーになれるよう、防災のお話や簡単コンロ作りと非常食体験、避難所模擬体験など「私たちにできる防災」を学びました。また、点字・手話の体験、ボランティアサークルや福祉協校の活動内容のパネル展を開催し、ボランティア活動のはじめの一歩として、みなさんに理解を深めていただきました。



バケツリレーによる初期消火体験 (8/9)



地震による液状化実験 (8/9)



身近な道具での救出体験 (8/10)



点字で名刺づくり (8/9)



手話でごあいさつ (7/30・8/6・8/27)



ボランティア活動を紹介 (7/26～8/28)

## あつたが通信

### ガールスカウト日本連盟茨城県第16団

団委員長 名雪マサ子

育成会長 川津 隆



希望を胸に入団式



交通事故撲滅運動参加



農場でのさつま芋の苗植え

ガールスカウトの創始者、イギリスのバーデンポーエル卿ははじめられて100年になり、日本では昨年90周年を迎えました。そもそもガールスカウトは将来ボーイスカウトの母となる女性を育てる大切な教育の場として今日まで続いております。少女達が自然を愛し、畏敬の念を以って(人とのまじわり)(自己開発)(自然と共に)この三本の柱をもとにプログラムが組まれております。少女や若い女性の成長を願い、月2回、土、日を利用して社会への奉仕も組み込んでおり、人に役立つ事は必ず自分の幸せにもつながってまいります。

幼い時の経験、体験が如何に自分の人生に大きく役立つか、すばらしい人生が築けるか。今回の東日本大震災では高校生、大学生が駆けつけ、疲れを見せない笑顔での報告を聞き、大変感激致しました。発団37年を迎え、充実したスカウティングを致しております。